

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043101) ドイツ語 I MT(1) German I German I	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期月4,木3	対象年次 1~
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 3. ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)~(5) Lektion 1 (6)~(9) Lektion 2 (10)~(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)~(20) Lektion 4 (21)~(25) Lektion 5 (26)~(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
この科目は全回対面授業を行います。			
【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。			
教科書・参考書等 『ミュンヘンに夢中』 アンドレア・ラーブ他著 (同学社)			
オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043102) ドイツ語 I JA(2) German I German I	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期月3,木2	対象年次 1~
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 3. ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の成績が評価が中心になるが(90%)、小テスト、課題の提出状況(10%)を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
第1回:Lektion 1 ドイツ語圏の国々 第2回:アルファベット、発音 第3回:動詞の人称変化 第4回:Dialogのまとめ 第5回:Ubungen、Lesetext 第6回:Lektion 2 名詞とは 第7回:名詞の性・数 第8回:名詞の格変化 第9回:Dialogのまとめ 第10回:Ubungen、Lesetext 第11回:Lektion 3 複数形とは 第12回:名詞の複数形 第13回:複数の格変化 第14回:Dialogのまとめ 第15回:Ubungen、Lesetext、中間試験 第16回:Lektion 4 動詞とは 第17回:不規則動詞 第18回:命令形 第19回:Dialogのまとめ 第20回:Ubungen、Lesetext 第21回:Lektion 5 前置詞とは 第22回:前置詞の格変化(1) 3格支配、4格支配 第23回:前置詞の格変化(2) 3・4格支配 第24回:Dialogのまとめ 第25回:Ubungen、Lesetext			

第26回：Lektion 6 冠詞類とは
第27回：定冠詞類
第28回：不定冠詞類
第29回：Dialogのまとめ
第30回：Ubungen、Lesetext
定期試験

この科目は全回対面授業を行います。

【自学自習のためのアドバイス】

語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。

教科書・参考書等

『ベルリンに夢中』
ベアーテ・ヴォンデ他著（同学社）

オフィスアワー 水曜日 1時限目、またはメール等での相談。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043103) ドイツ語 I JE(3) German I German I	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期水2, 金4	対象年次 1～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「a: 課題解決のための汎用的スキル」、「b: 広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等			
『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著(同学社)			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043104) ドイツ語 I JE(4) German I German I	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期水2, 金4	対象年次 1~
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン, アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 上記の目標は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」及び「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。			
成績評価の方法と基準 期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)~(5) Lektion 1 (6)~(9) Lektion 2 (10)~(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)~(20) Lektion 4 (21)~(25) Lektion 5 (26)~(30) Lektion 6 (31) 期末試験 この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043105) ドイツ語 I JE(5) German I German I	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期月3, 木2	対象年次 1~
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「a: 課題解決のための汎用的スキル」、「b: 広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)~(5) Lektion 1 (6)~(9) Lektion 2 (10)~(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)~(20) Lektion 4 (21)~(25) Lektion 5 (26)~(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等			
『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著(同学社)			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043107) ドイツ語 I M(7) German I German I	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期月3,木2	対象年次 1~
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン, アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
上記の目標は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」及び「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。			
成績評価の方法と基準			
期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
(1) ガイダンス (2)~(5) Lektion 1 (6)~(9) Lektion 2 (10)~(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)~(20) Lektion 4 (21)~(25) Lektion 5 (26)~(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等			
『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043108) ドイツ語 I M(8) German I German I	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期月3,木2	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン, 今崎 高秀	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 3. ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(14) 第1課～第6課 (15) 中間試験 (16)～(30) 第7課～第11課 (31) 期末試験 ※受講生の理解度・習熟度に応じて進度を早めます。 ※この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。 【自学自習のためのアドバイス】 教科書の練習問題を解く際は教科書に直接書き込まない様にして下さい。後で復習(見直し)ができるよう、別の紙に答えだけ書くようにしましょう。 授業では教科書のドイツ語(例文および練習問題)を読んでもらいますので、正しい発音で読めるよう、教科書付属のCDで発音の練習をして下さい。			
教科書・参考書等			
『プロムナード やさしいドイツ語文法(改訂版・CD付)』 著者:荻原耕平・山崎泰孝 白水社 ※辞書については授業で指示します。			
オフィスアワー オフィスアワーは特に設けていませんので、授業について質問等があれば担当教員のアドレスに遠慮なくメールしてください。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043109) ドイツ語 I M(9) German I German I	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期月3, 木2	対象年次 1~
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン, 渡部 祐加	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 3. ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。 (出席と宿題・数回の課題(2000字程度のレポート)の内容を特に重視する)			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す(教科書は必ず買っておくこと)。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
<ol style="list-style-type: none"> (1) ガイダンス (2)~(5) Lektion 1 (6)~(9) Lektion 2 (10)~(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)~(20) Lektion 4 (21)~(25) Lektion 5 (26)~(30) Lektion 6 (31) 期末試験 			
【自学自習のためのアドバイス】			
語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
【特に意欲のあるものへの対応】			
特に意欲のあるものが数人以上集まった場合は、希望に応じてオンラインあるいは対面で補講を行う場合があります。また、ドイツ語学習に対して特に意欲的で学習に対する目標を持っているもの(独検合格を目指しているもの、ドイツ留学を目指しているもの等)に対しても個別に学習のアドバイスをする場合があります。			
教科書・参考書等			
ドライクラング 異文化理解のドイツ語 郁文堂			

オフィスアワー その都度質問・相談はメールで対応する。（質問・相談がある場合は、なるべく授業後すぐに連絡してもらおうとその次の授業で詳しく説明することができるし、必要がある場合はほかのメンバーと共有することができる）。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

成績評価として出席を特に重要視する。ただしオンライン授業のなかで指名したときに、断りもなく席をはずしているということがわかったものはその時点でその授業を欠席とする。遅刻は3回で欠席1回とする。課題は授業内で2～3回課すことがあるが、1度も提出しない場合は不可とする。その他、個別のケースに対応する場合がありますので、やむをえない事情を考慮してほしい場合はその都度メールで渡部まで相談すること。

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043201) ドイツ語Ⅱ MT(1) German II German II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期月4,木3	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 3. ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験 この科目は全回対面授業を行います。 【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。			
教科書・参考書等 『ミュンヘンに夢中』 アンドレア・ラーブ他著 (同学社)			
オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043202) ドイツ語Ⅱ JA(2) German II German II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期月3,木2	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 3. ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の成績が評価が中心になるが(90%)、小テスト、課題の提出状況(10%)を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
第1回: Lektion 7 複合動詞 第2回: 分離動詞 第3回: 非分離動詞、接続詞 第4回: Dialogのまとめ 第5回: Übungen、Lesetext 第6回: Lektion 8 語法とは 第7回: 語法の助動詞 第8回: 未来時制 第9回: Dialogのまとめ 第10回: Übungen、Lesetext 第11回: Lektion 9 時制とは 第12回: 動詞の3基本形 第13回: 動詞の過去人称変化 第14回: Dialogのまとめ 第15回: Übungen、Lesetext、中間試験 第16回: Lektion 10 完了形とは 第17回: 現在完了形 第18回: 完了助動詞の選択 第19回: Dialogのまとめ 第20回: Übungen、Lesetext 第21回: Lektion 11 形容詞とは 第22回: 形容詞の格変化 第23回: 形容詞の比較級・最上級 第24回: Dialogのまとめ 第25回: Übungen、Lesetext 第26回: Lektion 12 受動態とは			

第27回：他動詞と自動詞の受動態
第28回：再帰動詞
第29回：Dialogのまとめ
第30回：Ubungen、Lesetext
定期試験

この科目は全回対面授業を行います。

【自学自習のためのアドバイス】

語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。

教科書・参考書等

『ベルリンに夢中』

ベアーテ・ヴォンデ他著（同学社）

オフィスアワー 水曜日 1時限目、またはメール等での相談。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043203) ドイツ語Ⅱ JE(3) German II German II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期水2, 金4	対象年次 1～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「a: 課題解決のための汎用的スキル」、「b: 広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著(同学社)			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043204) ドイツ語Ⅱ JE(4) German II German II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期水2,金4	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン, アルベルスマリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 上記の目標は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」及び「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。			
成績評価の方法と基準 期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043205) ドイツ語Ⅱ JE(5) German II German II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期月3, 木2	対象年次 1～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「a: 課題解決のための汎用的スキル」、「b: 広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等			
『Sprechen und Verstehen』 Florian Neumann 著 (同学社)			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043207) ドイツ語Ⅱ M(7) German II German II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期月3, 木2	対象年次 1～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン, アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 上記の目標は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」及び「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。			
成績評価の方法と基準 期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験 この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043208) ドイツ語Ⅱ M(8) German II German II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期月3, 木2	対象年次 1～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン, 今崎 高秀	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 3. ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(14) 第12課～第14課 (15) 中間試験 (16)～(30) テキストの読解 (31) 期末試験			
※前期の進度に応じて、後期はテキストの読解を中心に行います(基本文法で構成される初級のテキストから中級レベルへと段階的に上げていきます)。			
※この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
【自学自習のためのアドバイス】 前期と同じく毎回宿題を課しますので、必ず準備して授業に参加して下さい。 テキストの読解については、細かい訳語に拘るのは後回しにして、まずは文の構造(主語・動詞・目的語など)をしっかりと把握すること、そしてドイツ語が正しく発音できるように準備してください。			
教科書・参考書等 『プロムナード やさしいドイツ語文法(改訂版・CD付)』 著者: 荻原耕平・山崎泰孝 白水社			
オフィスアワー オフィスアワーは特に設けていませんので、授業について質問等があれば担当教員のアドレスに遠慮なくメールしてください。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Ex2 授業科目名 (時間割コード: 043209) ドイツ語Ⅱ M(9) German II German II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期月3,木2	対象年次 1~
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 演習	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン, 渡部 祐加	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間	学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)		
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
到達目標			
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 3. ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。 (出席と宿題を特に重視する)			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す(教科書は必ず買っておくこと)。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
(1) ガイダンス (2)~(5) Lektion 1 (6)~(9) Lektion 2 (10)~(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)~(20) Lektion 4 (21)~(25) Lektion 5 (26)~(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
【特に意欲のあるものへの対応】 特に意欲のあるものが数人以上集まった場合は、希望に応じてオンラインで補講を行う場合がある。また、ドイツ語学習に対して特に意欲的で学習に対する目標を持っているもの(独検合格を目指しているもの、ドイツ留学を目指しているもの等)に対しても個別に学習のアドバイスをする場合がある。			
教科書・参考書等 ドライクラング 異文化理解のドイツ語 郁文堂			
オフィスアワー その都度質問・相談はメールで対応する。(質問・相談がある場合は、なるべく授業後)			

すぐに連絡してもらおうとその次の授業で詳しく説明することができるし、必要がある場合はほかのメンバーと共有することができる)。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

成績評価として出席を特に重要視する。ただしオンライン授業のなかで指名したときに、断りもなく席をはずしているということがわかったものはその時点でその授業を欠席とする。遅刻は3回で欠席1回とする。その他、個別のケースに対応する場合がありますので、やむをえない事情を考慮してほしい場合はその都度メールで渡部まで相談すること。

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-LE1 授業科目名 (時間割コード:043301) ドイツ語Ⅲ(1) German III ドイツ語Ⅲ German III	科目区分 外国語科目 水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語 授業形態 講義	時間割 2022年度 前期月2 提供部局:大教センター DPコード:abx 単位数 1	対象年次 2~ 対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム
担当教員名 ノイマン フロリアン, 田淵 昌太	関連授業科目 履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 ドイツ語ⅠⅡで習得した文法知識を生かして、実際にドイツ語の文章(物語・昔話・伝説・歴史・料理のレシピなど)を読む。読解教材は、ドイツ語を学ぶ外国人のためにドイツで作成された初学者向けのものを中心に扱い、最終的にヨーロッパ言語共通参照枠A2レベルの文章を読む力を養うことを目指す。			
授業の目的 1 初級文法の復習を織り交ぜながら実際にドイツ語の文章を読み進めることにより読解力を向上させる。 2 読み取ったドイツ語文の内容を日本語で正確に表現する(和訳する)ことにより、自らの考えを整理し、的確に伝達する術を身につける。 3 ドイツ語学習を通して、ドイツやオーストリアといったドイツ語圏の国々の歴史や文化に親しみ、そうした異国の文物に対して自分なりの意見を持つことができるようになる。			
到達目標			
1 辞書を引く習慣を身につけ、辞書を使いこなすことができるようになる。 2 筋道だてて考える姿勢を身につける。 3 平易なドイツ語の文を自力で読むことができるようになる。 4 読み取ったドイツ語の文の内容を日本語で的確に表現できるようになる。 (以上4項目は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応する。) 5 ドイツ語圏の文学・歴史・食文化・音楽などに親しむ。 6 異文化を理解する姿勢(広い視野と柔軟な思考)を培う。 (以上2項目は、共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。)			
成績評価の方法と基準 評価項目とその割合は、おおむね以下のとおりとする。 授業準備の充実度・積極的な授業参加:50% (到達目標1・2・3・4・5・6と関連) レポート・提出物:20% (到達目標5・6と関連) 筆記試験:30% (到達目標1・2・3・4と関連) ※ 教室に出てきているだけで「出席点」に類する得点が与えられることはない。 ※ 授業中に授業と関係のないことをしている場合には欠席扱いとなり、「積極的な授業参加」の項目から減点される。 ※ レポートなどの提出物については授業内で随時、指示する。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
【授業計画】 第1回 「はじめまして」の歌 [音声聴取] 《歌》 第2回 「夏と冬の起源」第1章 [読解] 《物語》 第3回 「夏と冬の起源」第2章 [読解] 《物語》 第4回 「夏と冬の起源」第3章 [読解] 《物語》 第5回 「夏と冬の起源」第4章 [読解] 《物語》 第6回 「夏と冬の起源」第5章 [読解] 《物語》 第7回 「月の男」(前半) [読解] 《昔話》 第8回 「月の男」(後半) [読解] 《昔話》 第9回 ドイツの農家の朝ごはん [映像視聴] 第10回 簡単なドイツ料理の作りかた [読解] 第11回 「ハーメルンのねずみとり男」(前半) [読解] 《伝説》 第12回 「ハーメルンのねずみとり男」(後半) [読解] 《伝説》 第13回 「ルートヴィヒ二世の夢の城」(前半) [読解] 《歴史》 第14回 「ルートヴィヒ二世の夢の城」(後半) [読解] 《歴史》 第15回 「菩提樹」 [読解+音声聴取] 《歌曲》 第16回 試験 ※ この授業はすべて対面で行われます。 ※ 授業進度には多少のずれが生じる場合があります。			
【自学自習のためのアドバイス】 ・読解の授業については、しっかり辞書を引いて予習し、自分なりの訳文をきちんとノートに作成したうえで授業に参加するようにしましょう。			

- ・予習の際に、どこが分からないのかをはっきりさせておき（疑問点の整理）、その疑問点を解決するために授業に出てくるようにするといいでしょう。
- ・訳文を作成する場合には「誰が」「何を」「どうする」のか、はっきり分かるように書いてください。特に「主語」と「述語動詞」を明確に把握しておくことが大切です。

教科書・参考書等

- ・教科書を購入する必要はありません。
- ・教材は、すべて印刷物を配布するので、自分で整理して保管しておいてください。
(教材「夏と冬の起源」は第1回の授業で配布します。)
- ・辞書は『アポロン独和辞典〔第4版〕』（同学社 2022）など、書籍形態のものをお勧めします。

オフィスアワー 質問等のある者は授業前後の休み時間に申し出ること。その都度、対応する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

- ・なるべく電子辞書ではなく書籍形態の辞書を使うようにしてください。
- ・授業中の私語は厳禁。スマートフォンなどの電源は切っておくこと。
教室に出てくる以上は、授業と関係のないことはやらないようにしてください。
- ・熱意あふれる諸君の受講を期待しています。

ナンバリングコード B2DEU-axxG-1N-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 043302) ドイツ語Ⅲ (2) German III ドイツ語Ⅲ German III	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期木3	対象年次 2～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: axx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム
	授業形態 講義	単位数 1	
担当教員名 ノイマン フロリアン, 田淵 昌太	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要			
授業は教科書に沿って行われる。ドイツ語 I II の内容を復習し、基礎固めをしつつ、さらに高度な文法項目を習得する。			
授業の目的			
ドイツ語の初級文法を、ひとつとおり学び終える。			
到達目標			
1 動詞の変化を理解する。 2 冠詞の格変化を理解する。 3 現在完了形を理解する。 4 受動態を理解する。 5 関係代名詞を理解する。 (以上5項目は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応する。)			
成績評価の方法と基準			
評価項目とその割合は、おおむね以下のとおりとする。 授業準備の充実度・積極的な授業参加: 50% (到達目標 1・2・3・4・5 と関連) 筆記試験: 50% (到達目標 1・2・3・4・5 と関連)			
※ 教室に出てきているだけで「出席点」に類する得点が与えられることはない。 ※ 授業中に授業と関係のないことをしている場合には欠席扱いとなり、「積極的な授業参加」の項目から減点される。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
【授業計画】			
第1回 発音の基礎 / 第1課 (動詞の現在人称変化)			
第2回 第2課 (名詞の性・冠詞の格変化)			
第3回 第3課 (不規則変化動詞)			
第4回 第4課 (定冠詞類・不定冠詞類)			
第5回 第5課 (前置詞)			
第6回 第5課 (前置詞と定冠詞の融合形)			
第7回 第7課 (話法の助動詞/分離動詞)			
第8回 第8課 (zu不定詞)			
第9回 第8課 (従属の接続詞)			
第10回 第9課 (動詞の過去人称変化)			
第11回 第10課 (現在完了形)			
第12回 第10課 (過去完了形)			
第13回 第10課 (受動態)			
第14回 第11課 (定関係代名詞)			
第15回 第11課 (不定関係代名詞)			
第16回 筆記試験			
※ この授業はすべて対面で行われます。 ※ 第1回から授業を行いますので、教科書・辞書・ノートなどを持参してください。 ※ 第1回授業に限り、予習は不要です。 ※ 授業進度には多少のずれが生じる場合があります。 ※ 第6課ならびに第12課は、簡単に触れるにとどめます。			
【自学自習のためのアドバイス】			
・きちんと予習し、どこが分からないのかをはっきりさせたい(疑問点の整理)、その疑問点を解決するために授業に出てくるようにするといいでしょう。 ・分からないところは決して放置せず、教員に質問して、必ず解決しておくようにしましょう。			
教科書・参考書等			
【教科書】			
上野成利『パノラマ・エクスプレス 初級ドイツ語ゼミナール』(白水社 2022) [2,000円+税]			

【参考書】

根元道也ほか『アポロン独和辞典 [第4版] 』（同学社 2022）

※ すでに辞書を持っている人は、改めて買い直す必要はありません。

※ これから辞書を買うのであれば、なるべく『アポロン独和辞典 [第4版] 』にしてください。

オフィスアワー 質問等のある者は授業前後の休み時間に申し出ること。その都度、対応する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

- ・なるべく電子辞書ではなく書籍形態の辞書を使うようにしてください。
- ・毎回の予習が欠かせません。頑張って、きちんと準備をしたうえで、授業に参加するようにしましょう。

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード:043401) ドイツ語会話Ⅲ German Conversation III German Conversation III	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期月1	対象年次 2～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネクスト・プログラム
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ノイマン フロリアン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業は日常生活に必要な基礎的ドイツ語会話ができるようになることを目標とする。文法中心速く進むとより、学んだ文法を自然に使えるようになることを優先する。一年目で学んだ基礎文法とパターンを繰り返し練習するので、教科書は必ずしも終わらせる必要はない。言語だけではなく、ドイツ事情(歴史、地理、文化、政治など)について話し合う。			
授業の目的 日常生活に必要な基礎的ドイツ語会話ができるようになる。文法の基本を修得する。			
到達目標			
約 1000 語の語彙練習を前提としてのドイツ語の会話ができる。 (共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。)			
成績評価の方法と基準 評価は試験だけでは行わない。授業中に積極的に発表するなどの授業参加態度を重視する。50%は授業中の積極性、残りは口頭及び筆記試験により評価される。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
会話の練習を積み重ねる。 (1)～(15) 会話演習 (16) 期末試験			
教科書・参考書等 プリント配布			
オフィスアワー 初回の授業で説明する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 会話の授業なので、積極的な参加態度が求められる。			